

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月7日

事業所名 みんと

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2	6	空間の区切りを作っている	もう少し広いスペースがあるとよいので引越す予定
	2 職員の配置数は適切である	2	6	2	利用者の個別対応に応えるようにしている	採用をして職員増を行う
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	3	0	視覚障害でも利用できるようトイレに手すりを付けている	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2	0	月二回のミーティング時間を確保し、その中で行っている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	1		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	4		今後、第三者の外部評価を検討する
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	0	月二回の研修会を実施している	今後も継続を行う
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	0		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2	0	標準化し統一したものを使っている	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	0	リーダー制を敷き輪番制で行っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	4	0	リーダー制を敷き輪番制で行っている	多様化ができるよう発達の知識、経験を活かせるよう工夫していく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	5	0	課題やねらいを決めている	職員体制によって変わるので平準化できるようにしていく
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	3	0	保護者のニーズも含め立案している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	0	毎朝、確認している	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	5	3	業務時間の違いがあるため、朝と夕方行っている	左記を継続していく
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	0		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	2	0	ガイドライン勉強会を実施している	左記を継続していく	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係 機関 や 保護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	1	0	指示書を取っている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	1	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3	0		現在まで対象の児童がいない。今後、そのような利用者がいれば行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	3	参加している	継続していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	6		コロナ禍が落ち着き次第、再開する
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	2	児童部会へ参加している	継続していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	1	0	送迎時、出迎え時、面談時等だけではなく電話、メール等も活用している	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4	2	職員同士で対応方法の共有を行っている	研修参加や勉強会を通して支援力を上げていく	
保護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	0	契約時、必要時に応じて行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1	0	送迎時、出迎え時、面談時等だけではなく電話、メール等も活用している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	6		コロナ禍が落ち着き次第、再開する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0	丁寧に対応し説明している	日頃の連携を通じて信頼関係を構築していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	4	0	不定期にたよりを作成。	定期的に出来る体制にもっていく
	35	個人情報に十分注意している	10	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	保護者の意思疎通がしやすいツールを使うようにしている	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	2	7		コロナの為、招待はできない	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	9	1	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	9	1	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	10	0	0	年に2回実施している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して	8	0	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	10	0	0	保護者からの聞き取り、指示書 で確認している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	8	0	2	保存している	情報共有できるようミーティングを工夫して いく